

来週の「売り物」記事はこれ



2011年9月22日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

韓国社会の変化を考える

移民、障害者、路上生活者……。日本以上に単一民族意識が強く同質性が高いといわれてきた韓国社会は、マイノリティー（社会的少数派）には生きづらい世の中だと考えられてきました。しかし、経済成長で豊かになった韓国社会は21世紀に入って、少しずつ様相を異にし始めたようです。ふだんスポットライトを当てられることのない韓国の社会的少数派の活動を通して、韓国社会の変化を考えてみます。



—国体改革の行方を探る—

特集「スポーツ100年 現在・過去・未来」

27日掲載



国民体育大会（国体）を取り上げます。「わが国最大のスポーツの祭典」と看板を掲げながら、経費負担の大きさ、注目度の低下で、その存在意義も問われている大会。主催の日本体育協会は、長く「国体改革」に取り組んできましたが、10月1日開幕の第66回山口国体で、その成果は出るのでしょうか。

山口国体のマスコットキャラクター「ちよるる」

日本大変！ 記録的な「豪雨」急増のワケ

夕刊特集ワイド面 26日（月）

死者・行方不明者100人超という「平成」最悪の台風災害をもたらした台風12号。傷もいっていないというのに、今度は15号が列島を縦断、深刻な被害をもたらしました。氾らんする河川、崩落する山肌、そして、いとも簡単にマヒする交通機関。地球が発狂してしまったような豪雨です。多くの人が感じているように、事実、今年は例年に比べて大雨による被害が格段に増えているようです。加えて、これまで見られなかった大きな特徴があるといいます。今年の豪雨を「ハンマー投げ現象」と命名する、お天気キャスターの森田正光さんらの話に耳を傾けました。



「知りたいが分かる」がモットーの夕刊「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。